

▽▲第84回定期全国大会に基づく申し入れ▲▽ 沖縄支部

1月31日沖縄支部は、沖縄県、沖縄県議会に対して第84回定期全国大会の決定事項に基づく申し入れを行った。申し入れには、共に組合政治参与の崎山嗣幸沖縄県議会議員と仲村未央沖縄県議会議員にご協力いただき、琉球海運株式会社の島仲泰伍職場委員・大城潤一全国委員が同行した

申し入れでは、沖縄県は多くの離島航路を有しており、フェリー・旅客船の維持・存続、離島航路における船員の確保について共通理解を得られた。支部では今後も政治参与と連携し、活動方針の実現に向け取り組んでいく。

-主な申し入れ事項- 実効性ある対応を求めた

▽沖縄水産高等学校専攻科の定員拡大

▽船員後継者の確保・育成

▽タグボート基地の確保

▽海事思想の啓蒙活動—などについて

-ご対応者の見解-

■**沖縄県** ご対応＝金城敦企画部長

今回の申し入れは、海に囲まれた沖縄県にとって非常に重要な政策ばかりである。特に離島航路を担う、フェリー・旅客船の船員確保については、非常に重要であると認識している。

▽船員の後継者確保・育成

沖縄水産高校の需要が高まっていることをさまざまな視点から、今後も教育委員会と連携しながら検討していきたい。

▽タグボートの係留施設

那覇港の港湾計画の中に係留施設を設置することが盛り込まれており、港湾計画の進捗を県としても後押ししていきたい。

■**沖縄県議会** ご対応＝赤嶺昇議長、議会事務局

今回の申し入れ内容は、2月の県議会の各委員会でも議論するようになる。今後も海運・水産産業の発展にご協力をお願いしたい。

「海員だより」